

「自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組と目標」の自己評価

| | |
|-----|-------|
| 団体名 | 東みよし町 |
|-----|-------|

| 項目 | 目標設定の考え方 (現状・課題) | 2020 実績 | 年度 | 2021 | 2022 | 2023 | 2021・2022年度 取組内容 | 自己 評価 | 今後の 課題・対応策など |
|--|--|-----------------------------------|----|-----------------|-----------------|-----------------|---|----------|---|
| 地域住民の活動の立ち上げ支援、組織づくり支援等を実施する。(いきいき百歳体操) | 加齢に伴い要支援・要介護認定を受ける高齢者が多くなっているため、地域の高齢者が生きがい等をもって生活できる地域づくりが重要である。住民主体の通いの場等の拠点を整備することで自主活動を支援する。 | 34箇所 4,453人 (R3.12月 末現在) | 目標 | 35箇所 15,000人 | 36箇所 16,000人 | 37箇所 17,000人 | (2021) コロナにより休止している通いの場もある中で、対策をしつつ運営した。 | △ | 通いの場の設置数が減少しており目標を達成できていない。しかし、コロナ禍を乗り越えて活動してきた通いの場も徐々に活気が戻っているように思えるため、しっかりとフォローを続けて参加者の増加や、新規設営につなげていきたい。 |
| | | | 実績 | 35箇所 8,344人 | 32箇所 9,372人 | | (2022) 通いの場の数は減少したが、昨年度より休会が少なかったため参加人数は増えた。 | | |
| 生活支援等サービスを提供するボランティアとなるための研修等を実施する。 | 今後は地域の介護の担い手不足が予想される。前期高齢者の増加が見込まれるため、地域の生活支援ニーズと地域の元気な高齢者の活動をマッチングさせる取組を推進していく。 | 0回 0人 | 目標 | 1回 10人 | 1回 10人 | 1回 10人 | (2021) 実績なし。 | × | 住民からの研修受講の要望がなく、目標達成できていない。地域の生活支援ニーズにマッチングした担い手確保のため、今後も養成に努める。 |
| | | | 実績 | 0回 0人 | 0回 0人 | | (2022) 実績なし。 | | |
| 住民主体の自主活動として行うサービスBを実施する。 | 自主活動を行っている団体等に介護予防について啓発等を行うことで、介護予防に対する意識を高めて、介護予防につなげていく。 | 0件 | 目標 | 1件 | 1件 | 1件 | (2021) 実績なし。 | × | 住民からの実施の申し出がなく、目標達成できていない。地域における新たなサービスの担い手を育成することにより、サービスBの実施に繋げる。 |
| | | | 実績 | 0件 | 0件 | | (2022) 実績なし。 | | |
| 自主グループ活動を行っている団体等に対して介護予防についての支援を実施する。(介護予防サポーター養成講座等) | 自主活動を行っている団体等に介護予防について啓発等を行うことで、介護予防に対する意識を高めて、介護予防につなげていく。 | 5回 82人 | 目標 | 5回 100人 | 5回 100人 | 5回 100人 | (2021) 実績なし。 | × | コロナの影響により、目標達成できていない。令和5年度は、介護予防サポーター養成講座に代わり、フレイルサポーター養成講座を実施する予定である。 |
| | | | 実績 | 0回 0人 | 0回 0人 | | (2022) 実績なし。 | | |

| 項目 | 目標設定の考え方 (現状・課題) | 2020 実績 | 年度 | 2021 | 2022 | 2023 | 2021・2022年度 取組内容 | 自己 評価 | 今後の 課題・対応策など |
|-----------------------------------|---|------------|----|-------------|-------------|-------------|---|----------|--|
| 認知症の方に対する早期診断・早期対応のための体制づくりを実施する。 | 住み慣れた地域で生活を続けるためには、認知症の高齢者等への専門職の早期の関与等が重要と考えられる。早期診断・早期対応のための体制づくりを構築していく。 | | 目標 | 1箇所 5回 | 1箇所 5回 | 1箇所 5回 | (2021) 認知症の者並びにその家族に対して早期に支援を行う。 | △ | サポート医の助言を得ながら、チームとしての活動ができてきているが、医療への連携が課題となる。認知症初期集中支援チームで支援した内容を主治医と情報共有し連携を図るようにしていく。 |
| | | 1箇所 3回 | 実績 | 1箇所 3回 | 1箇所 3回 | | (2022) 認知症の者並びにその家族に対して早期に支援を行う。 | | |
| 認知症カフェ等を開催する。 | 認知症の人やその家族が地域の人や専門家と気軽に出会える場がない。相互に情報を共有しお互いを理解し合う「認知症カフェ」等の設置を推進していく。 | | 目標 | 18回 270人 | 18回 270人 | 18回 270人 | (2021) コロナの影響により1箇所は休止し、1箇所での開催となった。 | △ | コロナの影響により、開催数は減ったものの中止することなく活動することができた。コロナ対策をしつつ、参加者の増加に努める。 |
| | | 5回 49人 | 実績 | 10回 106人 | 10回 106人 | | (2022) コロナの影響により1箇所は休止し、1箇所での開催となった。 | | |
| 認知症サポーターを養成する。 | 住み慣れた地域で生活を続けるためには、地域住民等の理解や支援も重要と考えられる。そのためにも認知症サポーターを養成し、地域全体で認知症に対する理解を深め、支えていける地域づくりを行っていく。 | | 目標 | 8回 200人 | 13回 250人 | 13回 250人 | (2021) 養成講座を開催し、認知症サポーターを養成した。 | △ | コロナの影響もあるが、目標回数・人数を多く設定し過ぎているため達成できていない。継続して、サポーター養成に努める。 |
| | | 4回 78人 | 実績 | 4回 104人 | 4回 70人 | | (2022) 養成講座を開催し、認知症サポーターを養成した。 | | |
| 地域ケア会議を開催する。 | 他職種で検討することにより有効な解決手段等を導き、自立支援に資するケアマネジメントの支援を行うことで重度化防止や自立支援につなげていく。 | | 目標 | 2回 | 2回 | 2回 | (2021) 地域課題を発見して対応を協議する作業部会と、作業部会で協議した課題を協議し町に提言を行う町部局会を各1回開催する。 | ○ | 目標を達成した。今後も他職種と相互連携及び協力体制を構築し、地域課題を検討する。 |
| | | 2回 | 実績 | 2回 | 2回 | | (2022) 地域課題を発見して対応を協議する作業部会と、作業部会で協議した課題を協議し町に提言を行う町部局会を各1回開催する。 | | |